

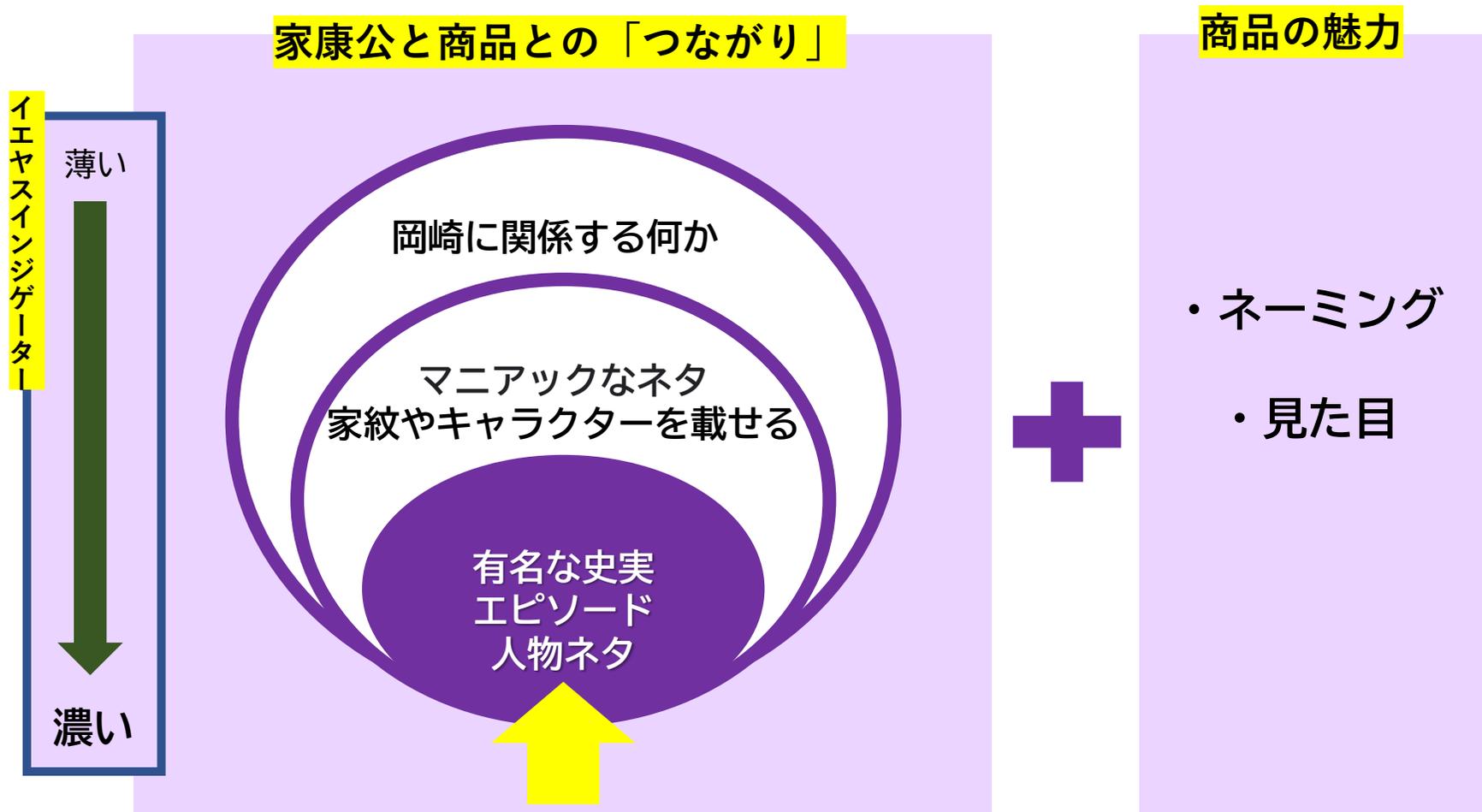


IEYASU PASSPORT

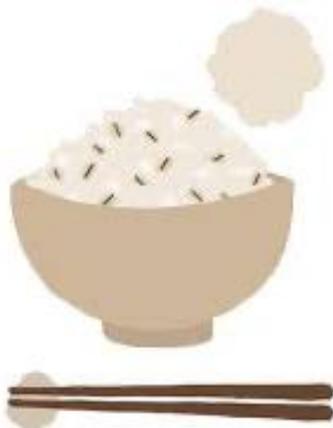
**OKa
Biz**

家康公お土産づくりパスポート

長く愛される「家康公お土産づくり」に大切なのはこの2つ！！



家康公の「濃くて・使いやすい」ネタを紹介します！！



麦飯

家康公は倅約のために、
あえて麦飯ばかり食べていました。

<書籍のエピソード>

・「家康は三河で毎年夏じゅうは麦飯であった。近臣がひそかに白米の飯を椀の底に入れ、その上に麦飯を少しだけおおってだすと、「そちたちはわしの心を知らないのだ。わしをけちだと思っているのか。いまは戦国のときで、戦道具の動かぬ年はない。士卒はつねに忙殺され、がたがたして寝食も安心してできない。そんなときにわしだけ何で飽食することができよう」といわれ、また「わし一身の食事を倅約して、少しでもそれを軍用にあてようとしているのだ。百姓に苦勞をさせて、自分だけが豊かであることはしない」といわれたので、聞くものはみな心から感じ入った。」（『名将言行録 下』より引用）



とろろ

家康公は山芋やレンコンなどをすりつぶした「とろろ」を好んだという記述があります。ご飯にかけて食べたそうです。

<書籍のエピソード>

- ・「家康が～健康食として「とろろ」を好んだ」
- ・「ヤマイモとレンコンをすりつぶし、一对一の割合でごはんにかけて食べた」
(『家康の天下盗り健康法』より引用)
- ・「小姓たちが、山芋とつくね芋などを集めて水たきにし、塩をつけて差し上げると、家康はそれに舌つづみを打ち、上機嫌で帰途についたという」
(『徳川家の家紋はなぜ三つ葉葵なのか』より引用)



三河味噌（赤味噌）

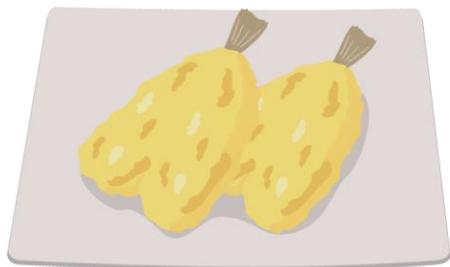
家康公は三河武士だけに、
三河味噌を好んで食べていたようです。

<書籍のエピソード>

「家康は、鷹狩りに出かけるときも、たいてい握り飯の両がわに味噌をつけて焼いたものを弁当にもっていった」（『家康の天下盗り健康法』より引用）

「家康は味噌がありさえすれば満足する味噌好きのうえに、粗食で麦飯と玄米食を通しました。」（『歴史の心理学』より引用）

鯛（の天ぷら）



家康公は京で食べられていた鯛をととても気に入り、好んで食べました。天ぷらにして、ニンニクを擦りかけて食したそうです。

<書籍のエピソード>

- ・「元和2年（1616）正月に鷹狩りに出かけた家康は、京の御用商人・茶屋四郎次郎に「京都で流行っている珍しい料理がある」と鯛の天ぷらを教えられる～興味を持った家康は早速作らせて、その風味の良さを気に入り、普段よりもたくさん食べ過ぎてしまった」
- ・「家康が食べた鯛の天ぷらは「鯛を胡麻の油にて揚げ候て、ひるをすりかけ候て」とある。ひるとはニンニクのことだ。『徳川実記』には樗油で揚げ、ニラをすりかけて食べたという異説もある」
- ・「家康が食べた鯛の天ぷらは、当時京都や大阪では「つけ揚げ」と呼ばれていた」（『武士のメシ』より引用）



柿

家康公が関ヶ原の戦いで岐阜へ進軍したときに「大きな柿（＝大垣）」を献上されて喜んだ逸話が残っています。

<書籍のエピソード>

- ・「関ヶ原の戦いに向けて岐阜県の揖斐川まで進軍していた徳川家康は地元の農家から大きな柿を献上される。そして「われ戦わずして大柿（大垣）を得たり」と喜んだ」（『徳川家の家紋はなぜ三つ葉葵なのか』より引用）



虎

家康公のシンボルとして用いられることのある「虎」。家康公の生まれた年が壬寅（みずのえとら）、時刻が寅刻（とらのこく）とされることが由来のようです。生まれた時刻に、お寺の寅神像が忽然と消えた（≡生まれ変わり）という伝説があります。

<書籍のエピソード>

- ・「天文11年は**壬寅の年**であった。生まれた時刻は**寅刻**(午前4時頃)とされ、三河鳳来寺の薬師十二神将のうちの**寅神の姿がその時刻に忽然として消えた**という面白い伝説がある。」
(『徳川家康公』より引用)
- ・「天文11年12月26日に男子を出産されました・・・**寅年の寅の日の寅の刻**であったと言われていますが・・・本尊薬師如来を護る十二神将の中で、**寅の方向にあった真達羅大将が、家康が生まれると共に忽然と姿を消す**とという事件が起きました。真達羅大将は一名寅童子ともいい・・・」(『奥三河むかし物語り (鳳来寺と寅童子)』より引用)



龍

岡崎城は別名「龍城」と言われ、岡崎城築城の際に守り神として龍を祀ったと言われます。家康公誕生のとき、金の鱗をした龍神が現れたという伝説が残っています。

<書籍のエピソード>

- ・「岡崎城は一名龍城とも呼ばれ、もてこの山に龍神が住み、城が築かれるやその守護神となり、敵の攻めるときは必ず黒雲をもって城を覆ったと伝えられている。徳川家康がこの城に呱呱の声をあげたときも、龍神が現れて舞ったという。」（『岡崎市戦災復興誌』より引用）
- ・「廣忠を父としお大の方を母とした、竹千代が此の城内に呱呱の声を揚げた日、恰も此英雄の産れ出づるを待っていたかのように城櫓の上に雲を呼び風を招く金鱗の龍神が現れた。竹千代（後の家康）幾多の陷難を切抜けて生長し、家康となり桶狭間の戦後、岡崎城に入りやがて参河一統の業成らんとする頃、三度までも金龍がその全身を現した。」（『三河鉄道沿線名所と傳説』より引用）

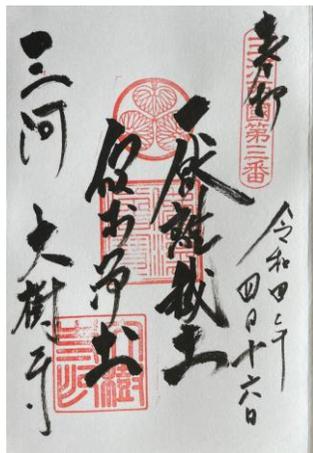


鷹（狩り）

家康公は健康オタクとして有名ですが、鷹狩りをトレーニングの一環として嗜んでいたようです。

<書籍のエピソード>

- ・「鷹狩りにも熱中した家康は、早朝から山野を駆け回り、家臣にたしなめられたこともあった。そのとき、家康はこう言い返したという。「鷹狩りによって手足は強くなり、動きも敏捷になるのだ。それに暑い寒いに関係なく、外を走り回るだろう。だから、病を防ぐことにもなる」（『ざんねんな歴史人物』より引用）



厭離穢土欣求浄土

(おんりえどごんぐじょうど)

徳川軍の旗印に書かれている「厭離穢土欣求浄土」。
桶狭間の戦いで敗れそうになった家康公は、逃げ込んだ大樹寺の住職からこの言葉を説かれて勇気づけられ、以後旗印にするようになりました。

<書籍のエピソード>

「桶狭間の戦いが起き、～家康も命からがら岡崎まで逃げ帰り、大樹寺に飛び込んだとも伝えられている。～ここで自害しようとする家康を制したのは住職の登誉上人であった～「厭離穢土欣求浄土」という浄土宗の言葉を説き、これを幟に書いて与え、家康を勇気づけた。すなわち「穢れた世を厭い、浄土を求めて努力すれば、必ず仏の加護が得られる」と。」

(『徳川家康 没後四百年』より引用)

家康公ネタ探し：おすすめ本紹介

天下とり健康法



食や運動、趣味や性格など、家康公の人物像がぎっしり詰まった一冊です。家康が語ったとされるエピソードが多く、「濃い」ネタを探せます。

著：宮本義己
出版社：講談社
出版年：1982

名将言行録（下）



「人の一生は重荷を負うて～」など家康公の名言・格言をそのエピソードとともに解説。キャッチコピーのネタ探しにピッタリです。

著：岡谷繁実
出版社：教育社
出版年：1980

徳川家の家紋はなぜ三つ葉葵なのか



家康公をはじめ、戦国武将のうんちくネタをふんだんに掲載。特に食と植物についての知識が多く語られています。「へえー」となるネタをお探しの方に。

著：稲垣栄洋
出版社：東洋経済新聞社
出版年：2015

ここで紹介した本はりぶら図書館の特別展示「家康公で商売繁盛！」で閲覧できます

お土産販路パスポート【合同商談会】



1回のエントリーで、4つ以上の販路開拓のチャンス！

おみやげ合同商談会（10月～11月開催予定）

臨時物品販売所
（ドラマ館併設お土産屋）
（岡崎公園内）

お土産処 三州岡崎宿
（NEOPASA岡崎内）

東海キヨスク
（JR岡崎駅ほか各駅）

道の駅藤川宿

そのほか、地域の小売流通店などの展開チャンスも増える可能性あり

- ・エントリー用紙は1枚。商品の特徴をまとめて提出は一回のみ。
- ・合同商談会の日に、商品サンプルをご提出いただきます。各店バイヤーが隅々まで拝見し、関心のあった事業者さまと個別商談へ。
- ・初開催は年明け販売に間に合う11月ごろ実施。以降、随時各販路への「差し込み提案」の可能性も。

バイヤーは、「この店にしかできないお土産」に期待している。

どこでも作れるものではなく、あなたのお店でしかできないおみやげ、が欲しいとバイヤーさんは期待しています！

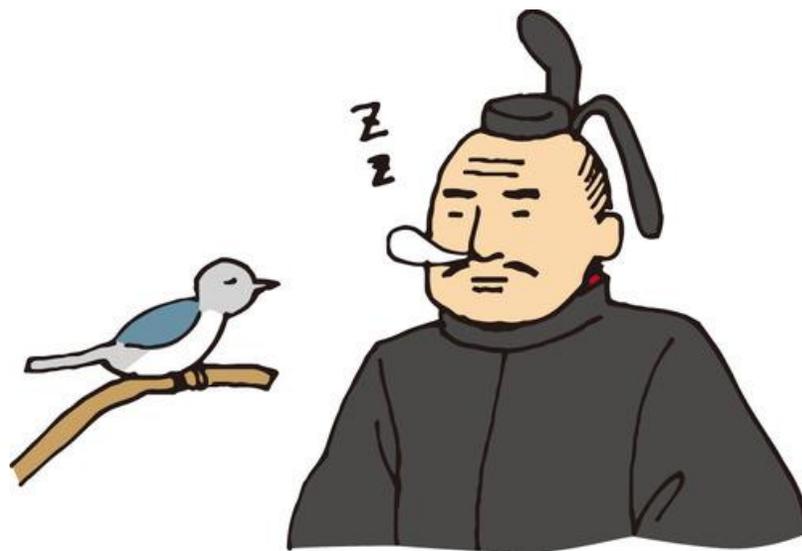
売するための準備は進んでいますか？

① コンセプトやお土産ストーリーと、
自社の強み・特徴を明確に！

② 食品表示、製造許可は早めに
各機関へ確認を。

③ 権利関係のあるイラストやロゴは
使用前に申請確認を！

岡崎市 おみやげ商品商談会 エントリーシート			
			提出日：2022年 月 日
商品名			
商品コンセプト			
商品の強み・特徴			
(商品写真を添付)			
■商品概要			
内容量			
種別	<input type="checkbox"/> 菓子類	<input type="checkbox"/> 畜産・水産加工品	<input type="checkbox"/> 農産物果物加工品 <input type="checkbox"/> 雑貨 <input type="checkbox"/> その他
形態	<input type="checkbox"/> 箱	<input type="checkbox"/> 缶	<input type="checkbox"/> 袋 <input type="checkbox"/> 缶 <input type="checkbox"/> その他
保存	<input type="checkbox"/> 常温保存	<input type="checkbox"/> 冷蔵・冷凍	<input type="checkbox"/> 加温
賞味/消費期限	<input type="checkbox"/> 賞味期限	<input type="checkbox"/> 消費期限	日
納入時保有消費期限	日		
販売開始時期	<input type="checkbox"/> R5.1~	<input type="checkbox"/> それ以降	月ご
販売価格(上代)	税込	円/個	1か月分の最低発注目標数 個
希望ロット	商販用パッケージ <input type="checkbox"/> 要返却		
販売実績のある販路			
納品方法といつ	<input type="checkbox"/> 営業担当	<input type="checkbox"/> 配送業者	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 日
販促物			
■各種手続きの確認			
<input type="checkbox"/> 食品衛生法の確認が保健所にて取得済み(食品の場合)			
<input type="checkbox"/> 製造物責任保険(PL保険)に加入している			
<input type="checkbox"/> 食品表示法の乗取り食品表示・栄養成分表示が準備できている			
<input type="checkbox"/> 家庭用品品質表示法を遵守している(家庭用品品質表示法対象のみ)			
■岡崎みやげとしての必然性			
<input type="checkbox"/> 岡崎市内で製造している			
<input type="checkbox"/> 岡崎市内で生産された農畜産物やその加工品である			
<input type="checkbox"/> 家康公をモチーフにした商品ストーリーやパッケージである			
<input type="checkbox"/> 岡崎市が発行するロゴやキャラクターを使用している			
<input type="checkbox"/> 岡崎の魅力を伝える商品である			
■事業者概要			
企業名・屋号			
事業内容			
代表者氏名			
所在地(住所)			
担当者名			
担当者ご連絡先	電話		メール
HP・SNS			



岡崎ビジネスサポートセンター OKa-Biz
岡崎市図書館交流プラザ リぶら
〒444-0059 愛知県岡崎市康生通西4丁目7-1
TEL : 0564-26-2231